

2

「書写のかぎ」を確認してみましょう。

書く楽しさ

青山のひと言

四つの「書写のかぎ」に照らして、自分の字を振り返ってみましょう。



3

「書写のかぎ」を意識して、

書く楽しさを

と書いてみましょう。

点画の長さ

同じ方向の画が二つ以上あるときは、その一つを長く書く。

書

点画の間隔

同じ方向の画が三つ以上あるときは、画の間隔を同じくらいに広げあげる。

楽

外形

文字の外形を考えて書く、整った文字になる。

し
サ

文字の大きさ

平仮名は漢字よりも少し小さく書く。

書
く

青山のひと言

変化を実感されましたか？
少しいことで私たちの字は変わります。ぜひ明日からの授業につなげてください。



After

このシートの中間に、小学校で学習する「書写のかぎ」一覧が掲載されています。



東京書籍

「書写のかぎ」で文字を整えよう！



必見！
三分で実感
美文字シート

「書写のかぎ」を知る前と後で、

私たちの字はどう変わるでしょうか。

編集代表 青山浩之先生 監修

編集代表の青山です。

この体験シートをご案内します。
気軽に取り組んでみてください。



1

まずは、何も見ずに

書く楽しさを

と書いてみましょう。

Before

Blank writing area for the 'Before' stage.

青山のひと言

いかがでしたか？
文字を整えて書くにはポイントがあり、教科書では「書写のかぎ」と名付けられています。このシートを裏返して、
②で「書写のかぎ」を確認してみましょう。



姿勢・持ち方	点画の書き方	書くときの動き	字形	配列	筆記具・用紙
姿勢・持ち方	始筆・送筆・終筆	横画	縦画	左はらい	右はらい
横画	縦画	左はらい	右はらい	点	折れ
縦画	左はらい	右はらい	折れ	折れ	折れ(ひらがな)
左はらい	右はらい	折れ	折れ(ひらがな)	結び(ひらがな)	筆順
点	折れ	結び(ひらがな)	筆順	点画のつながり	書く速さ
折れ	結び(ひらがな)	筆順	点画のつながり	書く速さ	外形
反り	筆順	書く速さ	書く速さ	外形	点画の長さ
曲がり	点画のつながり	書く速さ	書く速さ	点画の長さ	点画の間かく
折れ(ひらがな)	書く速さ	書く速さ	書く速さ	点画の間かく	点画の方向
結び(ひらがな)	書く速さ	書く速さ	書く速さ	点画の方向	点画の接し方
筆順	書く速さ	書く速さ	書く速さ	点画の接し方	点画の交わり方
点画のつながり	書く速さ	書く速さ	書く速さ	点画の交わり方	組み立て方
書く速さ	書く速さ	書く速さ	書く速さ	組み立て方	文字の中心
外形	書く速さ	書く速さ	書く速さ	文字の中心	行の中心
点画の長さ	書く速さ	書く速さ	書く速さ	行の中心	文字の大きさ
点画の間かく	書く速さ	書く速さ	書く速さ	文字の大きさ	字間・行間
点画の方向	書く速さ	書く速さ	書く速さ	字間・行間	筆記具・用紙
点画の接し方	書く速さ	書く速さ	書く速さ	筆記具・用紙	
点画の交わり方	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
組み立て方	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
文字の中心	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
行の中心	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
文字の大きさ	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
字間・行間	書く速さ	書く速さ	書く速さ		
筆記具・用紙	書く速さ	書く速さ	書く速さ		

姿勢・持ち方

- 文字を書く姿勢
- 鉛筆の持ち方
- 筆の持ち方
- 筆圧と穂先の向き
- 毛筆を書くときの線の太さは、筆圧によって変わる。
- 穂先の向きはいつも同じ。

点画の書き方

「横画」「縦画」「点」

「折れ」「曲がり」「反り」

- 始筆 筆圧に注意しながら、鉛筆や筆を置く。
- 送筆 筆圧を変えずに書き進める。
- 終筆 軽くおさえて止める。
- 「折れ」 折れるところへ、折れどめで、いちど止める。
- 「曲がり」 曲がりに、送筆で止めずに、進む方向を変える。
- 「反り」 送筆で止めずに、全体を少しひらいて、ませるように書く。

「左はらい」「右はらい」

「左はらい」「右はらい」

- 始筆 → 「と」と置く。
- 送筆 → 筆圧をだんだん弱くする。
- 終筆 → いちど止めてから、筆圧をだんだん弱くする。

送筆(ひらがな)

送筆(ひらがな)

- ひらがなは、漢字やカタカナよりも送筆部分に丸みをつけて書く。
- 「折れ」は、進む方向を変えて書く。
- 「曲がり」「結び」

字形

点画の長さ

点画の長さ

- 同じ方向の画が二つ以上あるときは、その二つを長く書く。
- 「横画」と「左はらい」が交わるとき、先に書く画を短く書く。
- 長く書くときよい画には次のものなどがある。
- 組み合わせの「左はらい」「右はらい」
- つぎぬける画
- 「曲がり」「反り」なども長く書くことが多い。

点画の間かく

点画の間かく

- 同じ方向の画が三つ以上あるときは、画の間かくを同じくらしいの広さにあける。

点画の方向

点画の方向

- 「左はらい」「二つの「左はらい」が、文字の下の方にあるときは、左はらいの方向を近づける。
- 文字の下の方にならないときは、左はらいの方向を近づけない。
- 「折れ」の方向
- 「左はらい」の方向
- 画の方向をそろえる。
- 「左はらい」の方向

文字の中心

文字の中心

- 文字の中心を見つけて書く、整った文字になる。

外形

外形

- 文字の外形を考えて書く、整った文字になる。

文字の大きさ

文字の大きさ

- まずの大きさよりも少し小さく書く。
- 上下・左右の線にふれないように、少し小さく書く。
- ひらがなは漢字よりも少し小さく書く。
- 画数の少ない漢字や、囲む形の漢字(「ロ」「や」「田」など)は、ほかの漢字よりも小さく書く。
- 画数の少ない漢字や、囲む形の漢字(「ロ」「や」「田」など)は、ほかの漢字よりも小さく書く。
- 用紙の上下と左右に必ず余白を作る。
- 書くところの広さや書く文字数から、文字のだいたい大きさと位置を考える。

余白

中秋の名月

組み立て方

組み立て方

- 画数が少ないほうの部分を、せまく書くことが多い。
- 左右の部分をそれぞれせまくする。
- 左右の部分の点画が重ならないように、「へん」の右側をそろえる。
- 上下の部分をそれぞれ平たくする。
- 上下の部分の点画が重ならないように、点画の形や方向を変えて書く。

点画の接し方・交わり方

点画の接し方・交わり方

- 画と画は、接する「か」はなれる「か」交わる。

字間

字間

- 字間は、同じくらいの広さにする。

行の中心

行の中心

- 行の中心は、文字の中心をそろえて整う。
- 行の中心は、それぞれの文字の「一画目の位置」を考えて書くとき、文字の中心になる。

三つの部分

三つの部分

- 三つの部分の「はば」や「高さ」を変え、位置をへらうして書く。
- 点画の形や方向を変えて書く「へん」でもある。

点画の接し方／筆順

点画の接し方／筆順

- 二つの画の始筆とつじが接するとき、先に書く画が少し出る。

書くときの動き

筆順

筆順

- 点画の種類や組み立て方によって、筆順には決まりがある。
- 正しい筆順で書く、点画のつながりがなめらかになり、字形が整う。
- 「上から下。」
- 「左から右。」
- 「形が同じ部分は、筆順も同じ。」

「たれ」「によう」「かまえ」

- 「たれ」 中の部分を、文字の中心より少し右にやせて書く。
- 「によう」 「右はらい」を長く書いて、上に乗る部分の右側を少しあける。
- 「かまえ」 中の部分を少し小さく書く。

「湖」「道」「買」

- 「湖」 上下の部分をそれぞれ平たくする。
- 「道」 上下の部分の点画が重ならないように、点画の形や方向を変えて書く。
- 「買」 上下の部分をそれぞれ平たくする。

点画のつながり

点画のつながり

- 次の点画へのつながりを意識すると、整った文字がなめらかに書ける。
- 点画の終筆から、次の点画の始筆へ、空中でなめらかにつなげるようなよつな動きで書く、字形が整いやすい。

文字と文字のつながり

文字と文字のつながり

- 文字の終筆から、次の文字の始筆へ、空中でなめらかにつなげるような動きで書く、字形が整いやすい。

書く速さ

書く速さ

- 場面に合わせて、速さを考えて書く。
- 速く書くときも、読みやすさを考えて書く。

筆記具・用紙

筆記具・用紙

筆記具・用紙

- 筆記具の特徴を知って、場面や目的に合わせて使い分ける。
- 文字の大きさを、大きい…太く・小さい…細く
- 下書きや書き直すとき…消すことができる筆記具
- 色の使い分け ○書くもの(紙や布など)